

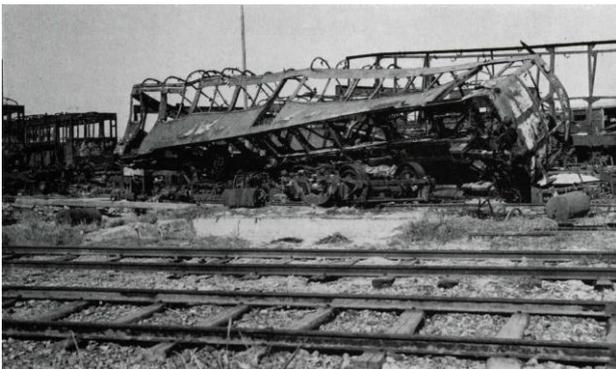
### 3. 山陽電車の被災

空襲によって、山陽電車も被災しました。

6月9日の空襲では、西新町にあった明石車両工場にも爆弾が落ち、学徒動員の中学生を含む、31人が犠牲になりました。

また、西新町～林崎（現在は、「林崎松江海岸駅」）間の線路にも被害がありました。

7月7日の空襲でも、明石車庫・運輸事務所が被災し、ここにあった20両以上の車両が全焼しました。



出典：「山陽電気鉄道百年史」

写真：明石市史編さん委員会編「明石の空襲-米国戦略爆撃調査団報告書から-」

### 4. 「進徳丸」への空襲

補助機関付帆船「進徳丸」は、神戸高等商船学校（現：神戸大学海事科学部）の練習船でしたが、1941年（昭和16年）の開戦以後は、通信省（現：国土交通省）の管轄に入りました。その後、帆を外す改装を受け、実習生をのせたまま、石炭輸送などの任務を行っていましたが、1945年（昭和20年）7月24日正午、二見沖に停泊中のところを、アメリカ軍の艦載機に攻撃され、機銃掃射・ロケット弾により大きな被害を受けました。

船は沈没を免れるため、二見港沖方位124度、距離420mにあった浅瀬に乗り上げて停止し、乗員は船外に退避、付近の浜辺に泳ぎ着きました。

（死亡者：実習生5人、乗組員1人、重傷者：実習生6人）

動けなくなった進徳丸への空襲は31日まで続き、船内は全焼してしまいました。



出典：神戸大学「海事資料館研究年報」

写真：神戸大学海事博物館 所蔵